

■成績表を使った質問で 見えてくることは

- Q 出席していくうちに興味を持った授業とその理由
- Q 出席していきうちに直面した時の姿勢が見える。楽しさや成長を見つけたら、自分なりの答えを導きだせるかどうか
- Q「00」はどんな内容の授業だったか
- Q すべての授業では回答を想定しておけないので、本場のコミュニケーション力や物事の理解力を確認できる
- Q 志望職種に関連する授業を選んでいたか
- Q 「本気度」がわかる

| 科目名 | 単位数 | 成績 |
|----------------------------|-----|----|
| 英語 I (English I) | 2.0 | A+ |
| 英語 II (English II) | 2.0 | A+ |
| 英語 III (English III) | 2.0 | A+ |
| 英語 IV (English IV) | 2.0 | A+ |
| 英語 V (English V) | 2.0 | A+ |
| 英語 VI (English VI) | 2.0 | A+ |
| 英語 VII (English VII) | 2.0 | A+ |
| 英語 VIII (English VIII) | 2.0 | A+ |
| 英語 IX (English IX) | 2.0 | A+ |
| 英語 X (English X) | 2.0 | A+ |
| 英語 XI (English XI) | 2.0 | A+ |
| 英語 XII (English XII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XIII (English XIII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XIV (English XIV) | 2.0 | A+ |
| 英語 XV (English XV) | 2.0 | A+ |
| 英語 XVI (English XVI) | 2.0 | A+ |
| 英語 XVII (English XVII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XVIII (English XVIII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XIX (English XIX) | 2.0 | A+ |
| 英語 XX (English XX) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXI (English XXI) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXII (English XXII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXIII (English XXIII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXIV (English XXIV) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXV (English XXV) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXVI (English XXVI) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXVII (English XXVII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXVIII (English XXVIII) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXIX (English XXIX) | 2.0 | A+ |
| 英語 XXX (English XXX) | 2.0 | A+ |

企業側に提供される学生の成績表の例。科目名や成績が並ぶ

就活生の素顔「成績」で迫る

合否の大半を握るのは成績表。大企業を中心に8月から解禁された採用面接で、大学の成績表を使う例が増えている。エントリーシート(ES)に沿った面接では、学生が回答を想定しており、本当の人物像が見えにくい。あまり話題にならない勉強への取り組みをどこかかき、学生の「素」に迫る作戦だ。

企業、面接対策防止へ活用

採用面接で学生と向かい合った社員は、学生の履修科目と成績がずらりと並んだ一覧表を見ながら質問した。「随分、単位を取ってきたね」「1年生から単位を取らないと試合に出られないと先輩に言われました。その回答した男子学生は全国

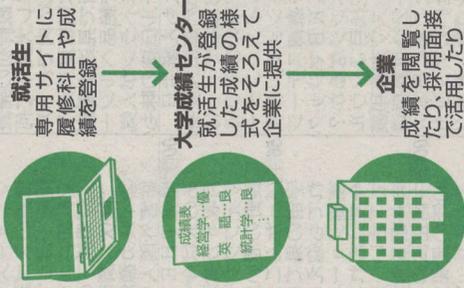
トップレベルの運動部に所属する。社員は「やらないといけないことも計画的にやり遂げられそう」と評価した。素材メーカー「帝人」は2013年から、面接で成績表を使っている。志望動機や自己PRを記入させるESと違い、成績をもとに

質問すると「どこを突っ込まれるのかわからないから学生が準備できず、素の部分が見える」と帝人の藤本浩一・人事総務部長は説明する。成績が下がった科目があれば、理由を尋ねる理解できなかつたのか。別のことに興味に向かったのか。意

様式統一サービスも

「大学成績センター」(東京都)は、学生から成績を集め、それを希望する企業に提供している。その

成績表のデータ提供サービス



けていたから。それとも、担当教員が嫌いだっただけか。「成績を評価するのではなく、成績表から質問を掘り下げ、求めている人物なのかを確認する」日本たばこ産業(JTI)も14年の採用面接から成績表を活用。「ESでは学生がアピールしたい部分しかわからなかつた。成績表を使うと『やりたくなくてもやらなければいけない』との姿勢がわかつた」と担当者。雄弁に語らない

印象の学生でも、成績表に沿って質問していくと、まじめに学んでいたことがわかり、内定を出した例もあるという。勉強に励む学生にも、成績活用は好評だ。東京学芸大4年の女子学生(20)は履修条件の厳しい学部に通うが、就活では学外での経験が重視されると聞き、合間を縫ってボランティアなどに取り組んだ。でも、「成績表をもとに面接してもら

らないう。勉強に励む学生にも、成績活用は好評だ。東京学芸大4年の女子学生(20)は履修条件の厳しい学部に通うが、就活では学外での経験が重視されると聞き、合間を縫ってボランティアなどに取り組んだ。でも、「成績表をもとに面接してもら

「成績表の信頼性、前提」

「肌感覚だが、面接で成績などについて尋ねる企業は少なかつた。そろ指摘するのは、千葉商科大学の菅見陽平専任講師(雇用労働問題)。企業が成績表の提出を求めるのは最終面接

や内々定時が多く、あまり合否の判断には重視されなかつた。だが、数年前からは面接に使う企業が増えてきたという。文部科学省などの調査によると、今春卒業の学生向

は採用活動で、成績表の提出を求めた企業は60%だった。応募時に学生に提出させるESに、「優、良、可」などの評価ごとに修得した科目数を記入させる企業も

際、大学ごとに異なる成績表の様式をそろえる。評価はすべて4段階に換算し、企業側が見比べやすいようにしているという。大学の難易度などは考慮しない。各大学の学部ごとに、登録学生の平均評価も算出して知らせるほか、面接での活用方法も助言する。昨春の採用活動では、大手メーカーや商社など36社がサービスを利用。学生約4万人分の成績が面接に使われた。今の4年生向け採

用では、約110社が利用している。学生の登録は無料、企業側は成績のデータ数に応じて料金2万〜4万円を支払う。社大1朗代表取締役は

ある。成績表が重視されたことで、新しい取り組みを始めた大学もある。早稲田大政治経済学部は11年前、相対評価を導入した。さらに14年度からはホームページで、各科目の「優、良、可……」の評価ごとに学生の割合を公表している。教務主任の飯沼隆教授は「企業が成績を参考にしたり、面接のきっかけにしたりするのは良い流れ。ただ、大前提として成績が信頼できるものでなければいけない」と説明する。別の私立大の就活支援担当者は「ほとんどの学生に優を出す大学もある」と指摘する。

「今の就活は勉強以外の経験が重視されるが、採用試験のあり方を変えることで、勉強もかんはれる大学教育になってほしい」と話す。(佐藤竜子)